

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	人にやさしいみちづくり事業			事業コード	1438
担当課等	所属名	建設部 道路管理課	担当係名		
	課長名	建設部 道路管理課	担当者名	池野 憲吾	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	安全な暮らし	コード 2	施策	市民生活を守る安全対策の充実	コード 3
	基本事業	交通安全の推進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 8款 2項 6目 ひとにやさしいみちづくり事業 (001-02)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 不明年度～)		
事務事業の概要	車椅子利用者や高齢者に配慮した歩道の段差解消及び視覚障害者に配慮した誘導ブロックの設置を行い、歩道利用者すべてに対し安全性と快適性の向上を図ることを目的とする事業					
根拠法令等	道路法、道路構造令、ひとにやさしいまちづくり条例					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和60年に「視覚障害者誘導用ブロック設置指針」が設定され、策定以前に施工された歩道について指針に基づき改良することで事業がスタートしたもの						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
身体障害者の社会参加が増えていること、高齢化が進む中「バリアフリー」～「ユニバーサルデザイン」の推進が言われる社会情勢となっており、市民・関係団体・議会から要望がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどのように変化しましたか。今後の見通しはどうか						
高齢化社会により、ますます推進(要望)されると考えられる。現在は交差点に絞って設置しているが、連続(交差点から交差点)した設置の必要(要望)がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	歩道を利用するすべての人で、歩道の交差点部を対象とする。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 歩道切下げ及び視覚障害者誘導用ブロック設置必要箇所数。 B. C.	単位 箇所 単位 単位	箇所
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 市域中央部に実施箇所を設定し、歩道のある交差点の調査を実施(委託)し、切下及び視覚障害者誘導用ブロックの設置。(当年度に事前調査～工事実施) 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 市域中央部に実施箇所を設定し、歩道のある交差点の事前調査を実施し、切下及び視覚障害者誘導用ブロックの設置。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 歩道切下げ及び視覚障害者誘導用ブロック設置計画箇所数。 B. C.	単位 箇所 単位 単位	箇所
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	身体障がい者等の歩道通行の安全性・快適性の向上。 交通弱者の自立と社会参加の支援ができる歩道環境の整備。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 歩道切下げ及び視覚障害者誘導用ブロック設置実施箇所数。 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 B. 歩道切下げ及び視覚障害者誘導用ブロック設置整備率。(設置実施箇所数/設置必要箇所数) 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位 箇所 単位 %	箇所 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	交通事故から守られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	人口1万人当たりの交通事故発生件数:当市の数値/全国平均(人口は10/1現在)(単位:%) 人口1万人あたりの交通事故発生件数(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	歩道切下げ及び視覚障害者誘導用ブロック設置必要箇所数。	箇所	49	63	50	70	60	60	26年度 500
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	歩道切下げ及び視覚障害者誘導用ブロック設置計画箇所数。	箇所	49	63	50	70	60	60	26年度 500
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	歩道切下げ及び視覚障害者誘導用ブロック設置実施箇所数。	箇所	49	63	50	70	60	60	26年度 500
成果 指標B	歩道切下げ及び視覚障害者誘導用ブロック設置整備率。(設置 実施箇所数/設置必要箇所数)	%	100	100	100	100	100	100	26年度 100
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	13,676	13,075	16,000	13,642	16,000	16,000	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円	12,300	11,700	14,400	12,200	14,400	14,400	*****
	⑦一般財源	千円	1,376	1,375	1,600	1,442	1,600	1,600	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	13,676	13,075	16,000	13,642	16,000	16,000	*****
	延べ業務時間数	時間	100	100	100	100	100	100	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	400	400	400	400	400	400	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	14,076	13,475	16,400	14,042	16,400	16,400	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 歩道利用者の安全かつ円滑な通行を確保している。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 昭和48年道路局長通達～平成11年道路局長通達による。道路管理者である市が行うべき事業である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ユニバーサルデザインの考え方を反映したまちづくりが求められており、可能な限りすべての人が満足でき、より利用しやすい施設の環境整備を考慮すると拡大すべきである。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 車椅子使用者の視点から行った段差除去整備は、高齢者やベビーカー使用者にとっても利用しやすい環境になるなど成果の向上が図れる。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 整備箇所を交差点に限らず、交差点間の整備へ拡大して実施することで事業の成果が上がる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: すべての人に快適な居住環境を実施する施策にもかかわらず、交通弱者に対する支援すら実現できなくなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 岩手県県土整備部ひとにやさしいまちづくり推進方針に基づき整備するため。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 積算業務は既に電子化し時間の短縮を図っており、事前調査や現場監督業務等現在の業務については、必要不可欠であり削減できない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: _____
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: _____

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 交差点間の歩道整備へ拡大し、ユニバーサルデザインの考え方を反映したまちづくりを図る。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 対象箇所、区域が拡大し、コストが増大する。 実施箇所の選定に際し、利用状況や利用者の意見等を収集しながら優先順位を評価し、実施していく必要がある。
---------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) ・車椅子利用者など歩道利用者すべての人に対し、安全性 と快適性の向上を図るため必要な事務事業である。 ・平成22年度は、市域南部の歩道がある一部交差点で工 事を実施した。										
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
方向付けの理由と改革改善の内容 平成22年度実施した様な緊急雇用創出事業を活用して本事業の効率性を高める。												